



田中 克哉

(たなか かつや)

麻酔科長

- 1964年(昭和39年)生まれ
- 1990年(平成2年)徳島大学医学部医学科卒業
- 2014年(平成26年)教授就任

専門分野

- 麻酔科学

安心・安全な全身麻酔を提供する

病気の治療のために手術が選択される場合があります。大きな手術になると私たち麻酔科医による全身麻酔が必要となります。全身麻酔をすると、患者さんの意識はなくなります。私たち麻酔科医は手術中も患者さんに寄り添い、患者さんの安全を最優先に考えて手術が行えるように全身管理を行っています。麻酔科医は術中に患者さんの様子の観察、循環器系、呼吸器系、中枢神経系、体温、などのモニターの指標のチェックを行い、麻酔薬を適切に投与して安全に手術が終了できるようにしています。

また、術中だけではなく、術前にご病気の有無などをお聞きし、血液検査などで全身状態をチェックさせていただき、麻酔に問題点があるか確認しています。そのうえで麻酔方針を決定して、患者さんにご説明させていただいています。術後も痛みの有無や術後の嘔気嘔吐の有無などもお聞きしています。

大学病院という特性上、麻酔に関連する基礎研究、臨床研究に力を注いでいます。近年、新しい麻酔薬の開発やモニターなど機器の進歩により安心して麻酔が受けられるようになっていますが、もっと安心して麻酔を受けてもらえるように研究を行っています。

これからも外科系各科の先生方、内科系の先生方と密接に連携を取りながら、安心して安全な麻酔、手術が受けられるように努力していきたいと考えています。